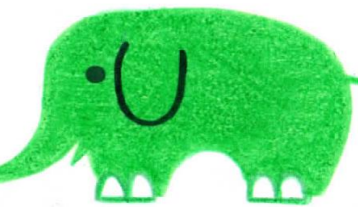


ぱおぱお ニュース



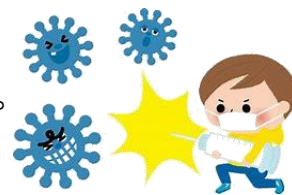
< 病気の豆知識 >

今月は… 『インフルエンザ』です



コロナウイルスの出現以来、感染予防対策のおかげで流行を抑えられていたインフルエンザですが、今シーズンは南半球のオーストラリアでの流行もあり、コロナ感染予防対策の緩和が出てきた日本でも、今年は流行するのではないかと報道されていますよね。

コロナウイルスとの同時流行も懸念されています。
もしかかってしまったとしても重症化を防げるように、ワクチン接種をおすすめします。



< インフルエンザの典型的な症状の経過 >

突然の高熱、頭痛、関節痛、全身倦怠感などに始まり、遅れて鼻水、咳、嘔吐、下痢などが現れます。数日で熱は下がりますが、再び発熱することもあります。一週間を過ぎると症状も落ち着き、ほとんどの方が軽快していきます。

< ホームケアのポイント >

- ・熱があり食欲のない時はイオン飲料などの水分だけでもしっかりととりましょう。
- ・高熱のときでもゼリーやプリンは食べやすいようです。
- ・食欲が出てきたら消化がよく口当たりのよいものを少しずつとりましょう。
- ・水分もとれず、おしっこが減ってきたら受診をおすすめします。
- ・入浴は寒気があったり、ぐったりしている時は避け、入浴する場合も短時間にしましょう。
- ・安静と十分な睡眠はとても大切です。



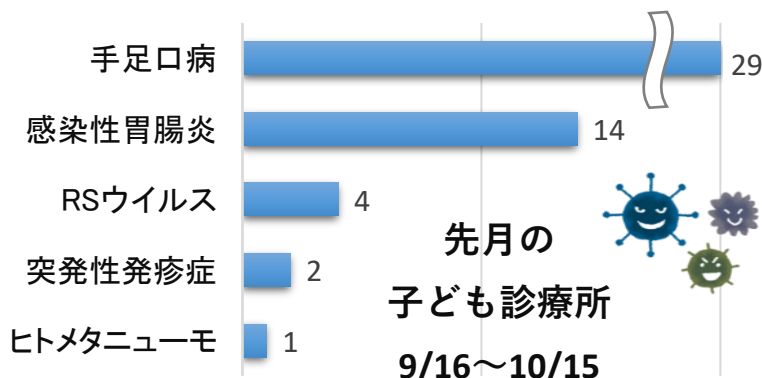
< 登園登校のやす >

出席停止期間は、以下のように決められています。

『発症後5日(発症日は0日)を経過し、かつ、解熱後3日(小学生以上は2日)経過するまで』
熱が下がっても3日経過するまでは家庭内で安静に過ごし、外遊びは控えましょう。



< 感染症情報 >



子ども診療所では…

- ・10月上旬に手足口病は落ち着いています。
- ・RSウイルスとヒトメタニューモウイルスが増えています。

病児保育室ぱおぱおでは…

- ・熱、咳、鼻水の風邪症状のお子さんや胃腸炎で下痢が続くお子さんが入室していました。

< 絵本の日 >

昼夜の寒暖差が大きくなり、少しずつ冬の訪れを感じる季節となりました。
秋は読書の秋とよく言われますが、11月30日は絵本の日なのをご存じでしょうか？
子どもの想像力や感性、言葉を覚える力を養うことを目的とした
「絵本を楽しむための記念日」だそうです。そこで病児保育室らしい絵本を一冊ご紹介しますね。



こぶたのプータはにがいお薬が苦手。病気で寝ていると、
怪獣の子どもたちがきて甘い魔法の薬を飲ませてくれました。
「おいしい！」と喜びますが、プータの耳が変な角に……。

< にがいおくすりのめるかな >

岩崎書店 作、絵：深見春夫 監修：小山博史

この絵本は、“薬を飲まないと、どうなっちゃうのかな？”

“苦手だった薬ってこんなにすごいんだ！”と薬の時間が楽しく思えるような内容です。

薬を飲むのが苦手なお子さんに、うまく薬を飲んでもらうコツを紹介してくれています。

また、絵本の最後には保護者向けに、薬を何かに混ぜて飲んでもらうテクニックや
その際の注意点なども掲載されていますよ。参考にされてみてはいかがでしょうか。

普段からお子さんと絵本を楽しんでる方は多いと思いますが、
外出もしやすいこの時期、お出かけしながら絵本を楽しめるところもご紹介したいと思います♪
おうちとはまた違った刺激がたくさんありそうですね。

< 絵本を楽しめるスポット >

- ・立川市の図書館…各図書館ではおはなし会を開催しています。
乳幼児向けと4歳からのおはなし会があるそうです。
各図書館で開催日時は違うので、最新情報をご確認ください。
- ・立川まんがパーク…畳敷きなので赤ちゃんがハイハイしても安心♪授乳室も完備しているので
小さなお子さん連れの方にも楽しめます。
未就学児 無料、大人400円、小人(小中) 200円
- ・ららぽーと立川立飛店…キッズスペースやカフェスペース併設のため、ファミリーでの利用もおすすめです。



同じ絵本を読んでも、面白いと感じることや興味を持つ内容は、子どもによって異なります。
絵本を読むことはお子さんの発達にいい影響がたくさんあると言われています。
お子さんと一緒に絵本の世界を楽しみましょう♪



保育室のご利用には 事前の登録が必要です！

*** 登録更新をされていない方も、前日予約はできません ***



新規ご登録は随時行っております。まずはお気軽にお電話を♪

お問い合わせ 病児保育室ぱおぱお(月～金 8:30～17:30)

TEL 042-521-2777